

2020年(令和2年)3月14日 土曜日

山陽新報

脱炭素チャレンジカップ企業賞 県学童保育連絡協が受賞 施設の木造化進める

地球温暖化防止につ
ながる活動を表彰する
「脱炭素チャレンジカ

ップ」(環境省など)
つくる実行委主催)で
県学童保育連絡協議会
が特別賞の企業賞に輝
いた。夏は熱く冬は冷
たくなりやすい放課後
児童クラブのプレハブ
施設を木造に切り替え



表彰状を受け取る糸山会長(左)

る運動に取り組み、導
入を実現させてきた成
果が評価された。

県内のクラブ施設は
プレハブが一般的で、
快適な環境を保つには
冷暖房が欠かせないと
いう。協議会は201
4年ごろから木造での
建築を各クラブや自治
体に働き掛け、外気温
に左右されにくく建設
コストもプレハブと大
差ないなどとメリット
を紹介してきた。これ
までに岡山、倉敷市の
15カ所が導入したとい
う。

10日には、木造施設
建設中で完成間近の宇

野小(中区原尾島)の
放課後児童クラブで表
彰式があった。チャレ
ンジカップに協賛する
一般社団法人日本WP
A(東京)の小川勇造
事務局長が、協議会の
糸山智栄会長に表彰
状などを贈った。糸山
会長は「クラブに通う
子どもの現状に注目
してもらえてうれし
い。木造の良さを今後
も発信したい」と喜ん
だ。

チャレンジカップに
は全国のグループや学
校、企業など183団
体から応募があった。
(平田亜沙美)

Okayama
岡山市民版